

青森・岩手県境不法投棄現場環境再生・提案書

団体名等	八戸工業大学		
代表者	学長 庄谷 征美	担当者	鈴木 拓也
所在地	青森県八戸市		

<p>① 提案のテーマ： 県境不法投棄事案の教訓を次世代に語り継ぐ「県境環境再生記念公園」</p>			
キーワード	環境教育・啓発施設	次世代への継承	緑地
<p>テーマ選定の目的・理由</p> <p>本事案は、大量生産・大量消費・大量廃棄の一過型経済システムのひずみにより発生したものであり、地域に大きな環境・社会問題を引き起こした。本事案の経験は、持続的発展可能な国・地域社会の創造に向けて国民全体が共有(反省)し、次世代に継承しなければならない。そこで「教訓を活かし、次世代に語り継ぐ」ことを目的とした提案を行う。</p> <p>また、本提案においては、下記の2点について特に留意した。</p> <p>(1)費用をなるべくかけないこと</p> <p>(2)住民参加型とすること</p>			
<p>②提案の概要</p> <p>青森県・田子町・研究機関が実施したアンケートおよび県民ワークショップの結果を踏まえ、「不法投棄現場跡地の緑地化」と「浸出水処理施設を環境再生資料館(仮称)」を2つの柱とし、これらを有機的に結びつけて活用する提案を行う。</p> <p>跡地の緑地化： 管理の容易な芝生および桜や広葉樹を植樹し、付帯設備としては駐車場および展望台(地元の間伐材の利用)の設置のみとする。桜や広葉樹は、オーナー制とし希望者に負担していただき整備することで経費の節約を図る。</p> <p>環境再生資料館： 発覚から環境再生までの過程をパネルや模型等を展示して、小学生から一般まで広く学習できる環境教育・啓発施設ならびに情報発信基地として整備する。特に、環境再生への過程では、住民、行政以外にも研究機関などが深く参画した珍しいケースであり、これらの研究成果等もふんだんに取り入れる。建物は現在の浸出水処理施設を利用する。</p> <p>また、緑地と資料館の間に遊歩道を整備し、現場の一体化を図る。詳細は、別紙1「不法投棄現場緑地化」および別紙2「県境不法投棄現場環境再生資料館(仮称)」を参照のこと。</p>			
<p>③実施主体(提携、協力主体を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青森県：跡地の整形、施設整備等に係る事業を行う。 ・ 市民ボランティア：緑化(芝、桜、広葉樹)作業を行う。青森県および田子町が協力する。 なお、桜や広葉樹はオーナー制とし植樹希望者に購入していただく。 ・ 地元ボランティア：資料館の運営を行う。特に昔から現場のことをよく知っている年配の方に協力いただきたい。 			

④概算事業費(可能であれば記入)

- ・ 跡地整形(土壌改良含む)、施設整備等に係る土木工事費
- ・ 芝生の種などの費用
- ・ 資料館設置に係る改装費および展示資料等の製作費

⑤期待される効果

緑地は、桜や広葉樹をオーナー制とすることで、多くの人達に関心を持って現場を見守り続けてもらえることができる。また、季節感のある植生を行うことで、より多くの人達に現場に立ち寄る機会を提供でき、交流の場として活用することも期待できる。

環境再生資料館は、環境再生までの過程を詳細に展示し、得られた知恵や教訓をメッセージとして伝える機能を持たせることで、環境学習・啓発施設および情報発信拠点と位置づけることができる。国内には本事案のような事例が多数あり、これらへの知恵および経験を継承することを期待できる。なお、ホームページなどのICT情報媒体や機器を充実させればさらに効果的である。また、不法投棄問題のみに限らず広い意味での環境に関わる企画展示を行うことのできるスペースや会議室・環境学習室も設置しており、環境に関するフォーラム等の各種イベントも開催可能である。

また、十和田・八甲田・二戸エリアに近いことから、旅行者(特に修学旅行生)にも立ち寄ってもらえるような観光ルートの確立も期待できる。このために、田子町や二戸市の既存の観光施設等との相互案内・広報などの連携を図る必要がある。なお通常は、小中高校生や各種団体の環境教育や遠足等の場として十分に活用できる。

⑤その他、特記事項

- ・環境再生資料館周囲を芝桜で植生する。
- ・浸出水貯留池にはビオトープを設置し、環境学習等に活用する。なお、防災調整池はそのまま利用する。
- ・観光連携などのために田子町や二戸市の各施設(田子町ガーリックセンターや直売所など)との連携(相互案内・広報・誘導)を行う。

不法投棄現場緑地化

地形全体を芝生で覆います



名物となる一本桜

季節毎に楽しめるように遊歩道外側に広葉樹（カエデ、ナナカマド、ダケカンバ）、内側に桜を配置する。

牧草地

自然観察遊歩道

環境再生資料館（仮称）

防災調整池は、そのまま活用する

資料館周辺を芝桜で覆う

ビオトープ

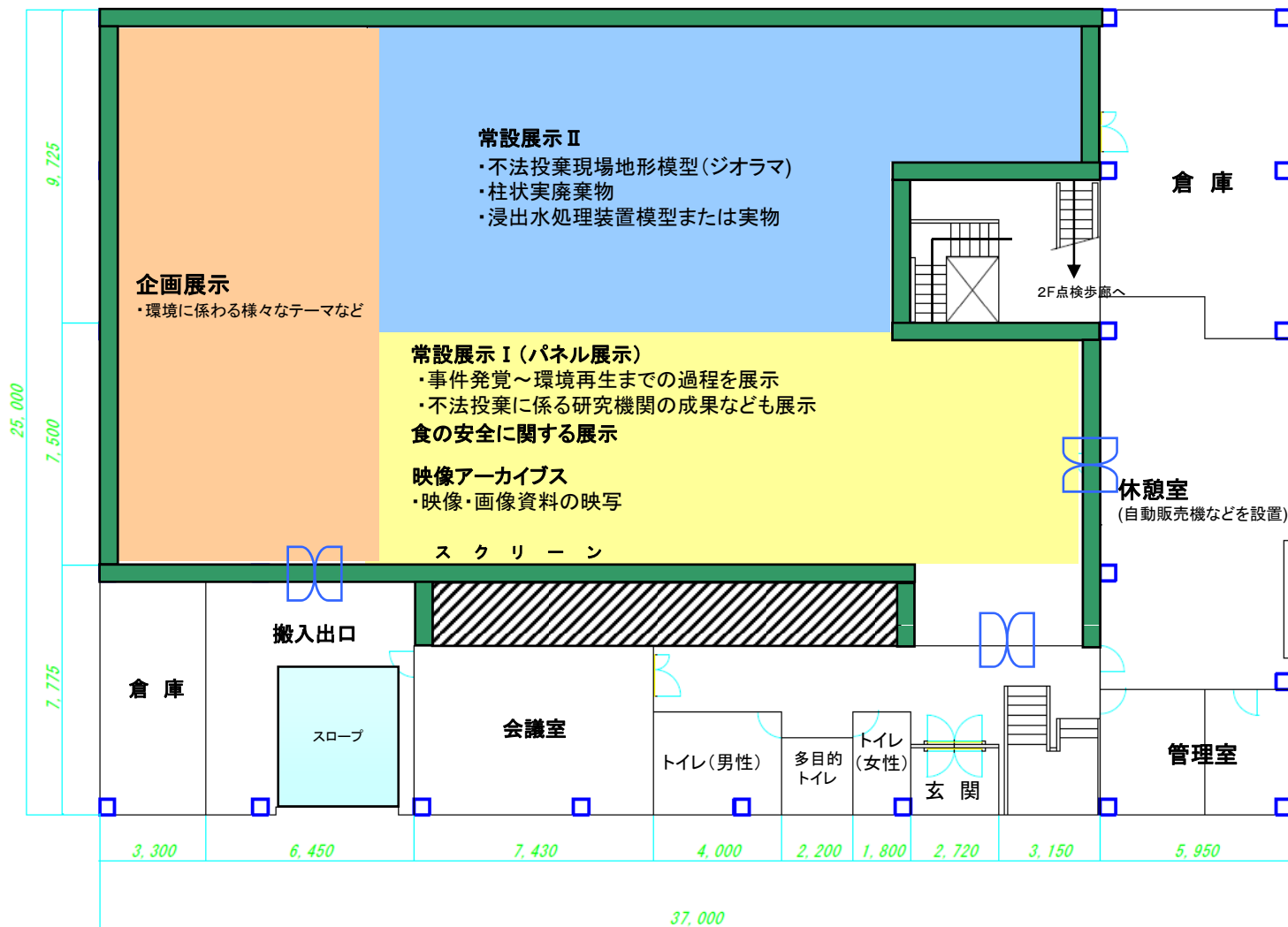


不法投棄現場緑地化



県境不法投棄現場環境再生資料館(仮称)

1 階



□ : 支柱 ■ : パーティション

単位:mm

県境不法投棄現場環境再生資料館(仮) (現 青森県県境浸出水処理施設)

2 階

